

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-158098(P2008-158098A)

【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2006-344756(P2006-344756)

【国際特許分類】

G 03 G 21/00 (2006.01)

B 41 J 29/40 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/00 3 9 6

B 41 J 29/40 Z

G 06 F 3/12 K

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷装置と、用紙を廃棄する廃棄装置とそれぞれ通信可能な文書管理装置であって、
文書データを記憶する文書記憶手段と、

前記文書記憶手段が記憶する文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の有無を示す情報を有する印刷用紙有無情報を管理する印刷履歴管理手段と、

前記文書記憶手段が記憶する文書データの少なくとも1つに対する削除指示を受け付ける受付手段と、

前記文書記憶手段が記憶するデータを削除する削除手段と、を備え、

前記文書記憶手段は更に、前記廃棄装置が廃棄する用紙から前記文書記憶手段が記憶する文書データを特定するのに用いられる管理情報を記憶し、

前記印刷履歴管理手段は、用紙を廃棄することを前記廃棄装置から通知されたことに基づいて、前記管理情報を用いて特定される前記廃棄される用紙に対応する文書データの印刷用紙有無情報を更新し、

前記削除手段は、前記受付手段が受け付けた削除指示に基づいて削除対象の文書データを前記文書記憶手段から削除し、前記印刷用紙有無情報が前記印刷装置が印刷した用紙が存在しないことを示すことを基づいて前記管理情報を前記文書記憶手段から削除することを特徴とする、文書管理装置。

【請求項2】

前記印刷履歴管理手段は、前記文書記憶手段に記憶されている文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の数と、前記文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙を前記廃棄装置が廃棄した数とに基づいて前記印刷用紙有無情報を管理することを特徴とする、請求項1に記載の文書管理装置。

【請求項3】

更に、前記印刷装置が文書データに基づく画像を印刷する場合に当該印刷に固有の印刷識別子を生成する生成手段と、

前記生成手段が生成した印刷識別紙を、前記文書データとともに前記印刷装置へ送信する送信手段と、を備えることを特徴とする、請求項1または2に記載の文書管理装置。

【請求項4】

更に、前記文書記憶手段が記憶する文書データの保存期間を管理する保存期間管理手段を備え、

前記受付手段は、前記保存期間管理手段から保存期間を終了した文書データの削除指示を受け付けることを特徴とする、請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の文書管理装置。

【請求項5】

印刷装置と、用紙を廃棄する廃棄装置とそれぞれ通信可能であり、文書データを記憶し、前記廃棄装置が廃棄する用紙から記憶する文書データを特定するのに用いられる管理情報を記憶することが可能な文書記憶手段を備える文書管理装置における文書管理方法であって、

前記文書記憶手段が記憶する文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の有無を示す情報である印刷用紙有無情報を管理する印刷履歴管理工程と、

用紙を廃棄することを前記廃棄装置から通知されたことに基づいて、前記文書記憶手段が記憶する前記管理情報を用いて特定される前記廃棄される用紙に対応する文書データの印刷用紙有無情報を更新する更新工程と、

前記文書記憶手段が記憶する文書データに対する削除指示に基づいて削除対象の文書データを前記文書記憶手段から削除する第1削除工程と、

前記印刷用紙有無情報が前記印刷装置が印刷した用紙が存在しないことを示すことに基づいて前記管理情報を前記文書記憶手段から削除する第2削除工程と、を含むことを特徴とする、文書管理方法。

【請求項6】

印刷装置と、用紙を廃棄する廃棄装置とそれぞれ通信可能であり、文書データを記憶し、前記廃棄装置が廃棄する用紙から記憶する文書データを特定するのに用いられる管理情報を記憶することが可能な文書記憶手段を備える文書管理装置に文書管理方法を実行させるためのプログラムであって、

前記文書管理方法は、

前記文書記憶手段が記憶する文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の有無を示す情報である印刷用紙有無情報を管理する印刷履歴管理工程と、

用紙を廃棄することを前記廃棄装置から通知されたことに基づいて、前記文書記憶手段が記憶する前記管理情報を用いて特定される前記廃棄される用紙に対応する文書データの印刷用紙有無情報を更新する更新工程と、

前記文書記憶手段が記憶する文書データに対する削除指示に基づいて削除対象の文書データを前記文書記憶手段から削除する第1削除工程と、

前記印刷用紙有無情報が前記印刷装置が印刷した用紙が存在しないことを示すことに基づいて前記管理情報を前記文書記憶手段から削除する第2削除工程と、を含むことを特徴とする、プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】文書管理装置、文書管理方法、およびプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、文書データを管理する文書管理装置、文書管理方法、およびプログラムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、文書データに基づいて印刷出力された印刷物の廃却管理を確実に実施することができる文書管理装置、文書管理方法、およびプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明の文書管理装置は、印刷装置と、用紙を廃棄する廃棄装置とそれぞれ通信可能な文書管理装置であって、文書データを記憶する文書記憶手段と、前記文書記憶手段が記憶する文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の有無を示す情報である印刷用紙有無情報を管理する印刷履歴管理手段と、前記文書記憶手段が記憶する文書データの少なくとも1つに対する削除指示を受け付ける受付手段と、前記文書記憶手段が記憶するデータを削除する削除手段と、を備え、前記文書記憶手段は更に、前記廃棄装置が廃棄する用紙から前記文書記憶手段が記憶する文書データを特定するのに用いられる管理情報を記憶し、前記印刷履歴管理手段は、用紙を廃棄することを前記廃棄装置から通知されたことに基づいて、前記管理情報を用いて特定される前記廃棄される用紙に対応する文書データの印刷用紙有無情報を更新し、前記削除手段は、前記受付手段が受け付けた削除指示に基づいて削除対象の文書データを前記文書記憶手段から削除し、前記印刷用紙有無情報を前記印刷装置が印刷した用紙が存在しないことを示すことに基づいて前記管理情報を前記文書記憶手段から削除することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、上記目的を達成するために、本発明の文書管理方法は、印刷装置と、用紙を廃棄する廃棄装置とそれぞれ通信可能であり、文書データを記憶し、前記廃棄装置が廃棄する用紙から記憶する文書データを特定するのに用いられる管理情報を記憶することが可能な文書記憶手段を備える文書管理装置における文書管理方法であって、前記文書記憶手段が記憶する文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の有無を示す情報である印刷用紙有無情報を管理する印刷履歴管理工程と、用紙を廃棄することを前記廃棄装置から通知されたことに基づいて、前記文書記憶手段が記憶する前記管理情報を用いて特定される前記廃棄される用紙に対応する文書データの印刷用紙有無情報を更新する更新工程と、前記文書記憶手段が記憶する文書データに対する削除指示に基づいて削除対象の文書データを前記文書記憶手段から削除する第1削除工程と、前記印刷用紙有無情報が前記印刷装置が印刷した用紙が存在しないことを示すことに基づいて前記管理情報を前記文書記憶手段から削除する第2削除工程と、を含むことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、上記目的を達成するために、本発明のプログラムは、印刷装置と、用紙を廃棄する廃棄装置とそれぞれ通信可能であり、文書データを記憶し、前記廃棄装置が廃棄する用紙から記憶する文書データを特定するのに用いられる管理情報を記憶することが可能な文書記憶手段を備える文書管理装置に文書管理方法を実行させるためのプログラムであって、前記文書管理方法は、前記文書記憶手段が記憶する文書データに基づき前記印刷装置が印刷した用紙の有無を示す情報を管理する印刷履歴管理工程と、用紙を廃棄することを前記廃棄装置から通知されたことに基づいて、前記文書記憶手段が記憶する前記管理情報を用いて特定される前記廃棄される用紙に対応する文書データの印刷用紙有無情報を更新する更新工程と、前記文書記憶手段が記憶する文書データに対する削除指示に基づいて削除対象の文書データを前記文書記憶手段から削除する第1削除工程と、前記印刷用紙有無情報が前記印刷装置が印刷した用紙が存在しないことを示すことに基づいて前記管理情報を前記文書記憶手段から削除する第2削除工程と、を含むことを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】